

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

2021(令和 3)年度 理事総会(第 1 回理事会)

2021(令和 3)年 4 月 16 日(金) 15:00~17:00

岩手県立盛岡第二高等学校 会議室

次第

開会		
専門部長挨拶		
自己紹介		
議長選出		
協議	1	2020(令和 2)年度事業報告ならびに決算報告
	(1)	2020(令和 2)年度役員 2
	(2)	事業報告 3
	(3)	決算報告
	ア	一般会計 6
	イ	事業費会計① NHK 杯県大会 7
	ウ	事業費会計② 新人大会 8
	エ	事業費会計③ 講習会 9
	2	2021(令和 3)年度役員(非改選期) 10
	3	2021(令和 3)年度事業計画ならびに予算
	(1)	事業計画 12
	(2)	予算
	ア	一般会計 18
	イ	事業費会計① NHK 杯県大会 19
	ウ	事業費会計② 新人大会 20
	エ	事業費会計③ 講習会 21
	4	NHK 杯県大会要項(6 月 7 日・8 日開催) 22
	5	アナウンス朗読講習会要項(6 月下旬開催) 22
	6	放送講習会要項(9 月 19 日開催) 22
	7	その他 22
連絡	1	2022(令和 4)年度以降の予定 23
	2	放送専門部の連絡方法 24
	3	その他 25
閉会		
資料		岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約 26
		2020(令和 2)年度高文連紀要・大会結果 別冊

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/2021/bod20210416.pdf>

協議 1 2020(令和2)年度事業報告ならびに決算報告

(1) 2020(令和2)年度役員 (理事校 25 校, 報告事項)

専門部長	岩手県立盛岡第二高等学校長	小原貴人	
副専門部長	岩手県立水沢高等学校長	及川晃貴	
専門部代表理事	岩手県立盛岡第二高等学校	菊地達哉	(事務局長・上位大会担当*)
専門部理事			
岩手県立盛岡第一高等学校	細川純平		2030～31 年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	松尾洋平・大野浄美		事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	高橋篤志	(監事)	2022～23 年度事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	佐藤満		2036～37 年度事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	安藤剛		2034～35 年度事務局校
岩手県立盛岡南高等学校	川崎博子		2024～25 年度事務局校
岩手県立不来方高等学校	金子剛		2026～27 年度事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	澤村由紀		
岩手県立盛岡工業高等学校	小野寺真由美		2028～29 年度事務局校
岩手県立紫波総合高等学校	鈴木勇二	(盛岡支部理事)	
盛岡市立高等学校	山崎治子		2032～33 年度事務局校
岩手中・高等学校	一郷翔徳		2038～39 年度事務局校
盛岡白百合学園中学高等学校	遠山恵美	(監事)	前事務局校
岩手県立花巻北高等学校	小田諭		
岩手県立花巻農業高等学校	濱谷伸広	(花巻支部理事・NHK 杯運営委員)	
岩手県立黒沢尻北高等学校	高橋知己	(北上支部理事)	
岩手県立岩谷堂高等学校	小澤芝	(奥州支部理事)	
岩手県立一関工業高等学校	佐々木亜紀子	(一関支部理事)	
岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉	(気仙支部理事)	
岩手県立釜石高等学校	小林晃	(釜石支部理事)	
岩手県立宮古高等学校	菊地奈樹	(宮古支部理事)	
岩手県立宮古商工高等学校	和山真也		
岩手県立久慈高等学校	伊東真紀	(久慈支部理事)	
岩手県立福岡高等学校	石坂みづえ	(二戸支部理事)	
NHK 学園高等学校(杜陵協力校)	佐々木俊史		

(※ NHK 杯運営部, 高文連全国放送専門部理事, 東北地区高文連放送部会理事, 東北アナ朗事務局)

(2) 事業報告 (2020(令和2)年度第3回理事会で2月まで報告済)

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	10	金	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	17	金	理事総会・第1回理事会	盛岡第二高校	放送専門部
5	15	金	県高文連事務局長会議他(中止)	サンセール盛岡	県高文連
5	19	火	第72回岩手県高等学校総合体育大会総合開会式 司会…中止	運動公園	協力事業 県高体連
6	9 19	火 金	第43回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第67回岩手県高校放送コンテスト (13校・246名・58エントリー)	ウェブ上	放送専門部・NHK
6	29 30	月 火	第20回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト(中止)	細野コミュニティセンター	東北高文連 主管事業
7	4 5	土 日	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議(中止)	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	中旬		アナウンス朗読講習会(中止)	NHK盛岡放送局	放送専門部
7 8	22 11	水 火	全国高校放送放送発表大会 (1校1エントリー)	ウェブ上	後援事業 同実行委員会
7 10	31 31	金 土	第44回全国高等学校総合文化祭(高知大会) 放送部門(7校・9エントリー)	WEB SOUBUN として開催	全国高文連
8	2 5	日 水	第67回NHK杯全国高校放送コンテスト(中止)	兵庫県立芸術文化センター 甲南大学岡本キャンパス	全放連・NHK
8	7 28	金 金	ファイト岩手! アフらじ放送部の夏2020 (6校)	IBC岩手放送ラジオ	協力事業 IBC岩手放送
9	1 30	火 水	高文連全国放送専門部理事会	書面開催	全国高文連
9	11	金	第2回理事会	盛岡第二高校	放送専門部
9	15	火	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	オンライン	東北高文連
9	18	金	放送部チャレンジ2020 「ほんとはNコンに出すはずでした作品」	(NHK)	全放連・NHK
9	21	月	セミナーサポート事業②放送講習会(中止)	県民会館	放送専門部
10	9	金	第43回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 (司会: 盛岡第二・大石綺星)	県民会館 (盛岡大学附属高校主管)	県高文連 (盛岡支部主管)
10	13	火	セミナーサポート事業③ メディアコミュニケーションセミナー (16校・141名)	県民会館	放送専門部
10	30	金	放送部チャレンジ2020 「新しい“制作”様式”で投稿しようプロジェクト	(NHK)	全放連・NHK
11	10	火	第43回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第38回岩手県高等学校放送新人大会 (14校・146名・107エントリー)	県民会館	放送専門部
11	24	火	セミナーサポート事業④番組講習会 (8校36名限定)	県民会館	放送専門部
12	3 4	木 金	全国高文連研究大会(放送専門部派遣1名 中止)	新潟市・朱鷺メッセ	全国高文連
12	12	土	海のごみをなくしていこう ラジオキャンペーン大賞 (3校)	(IBCラジオ)	協力事業 (IBC岩手放送他)
12	23	水	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会 (10校26名)	県民会館	放送専門部
12	27 28	日 月	校内放送指導者講座 (14名参加)	オンライン	全放連・NHK
1 2	30 7	土 日	第24回東北高等学校放送コンテスト (12校・60名・24エントリー)	ウェブ上	東北高文連
2	5	金	県高文連第2回理事会	サンセール盛岡	県高文連
2	10	水	第3回理事会・会計監査	盛岡第二高校	放送専門部
3	20	土	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	オンライン	全放連・NHK
3	20 21	土 日	番組講習会	不来方高校 県民会館	盛岡支部

ア 大会事業

県大会はいずれも第43回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会として開催。全結果は放送専門部のウェブサイト参照。

- ① 第67回岩手県高校放送コンテスト 6月9日(火)-19日(金) ウェブ上で開催
 - ・NHK杯の代替大会として実施。

- ② 第38回岩手県高等学校放送新人大会 11月10日(火) 県民会館
 - ・東北高等学校放送コンテスト(山形大会, 2021年2月)ならびに第45回全国高等学校総合文化祭放送部門(和歌山大会, 2021年8月)の予選として実施。
 - ・第45回全国高総文祭参加推薦は次のとおり。
 - アナウンス部門…盛岡北(2)高橋海茉, 盛岡第二(2)小山由貴, 宮古(2)畠山愛深
 - 朗読部門…花巻北(2)谷藤百香, 花巻北(2)渡邊愛香, 花巻農業(2)八重樫美咲
 - オーディオピクチャー部門…花巻農業
 - ビデオメッセージ部門…盛岡第一, 不来方

- ③ 上位大会…県勢の全国大会入賞は次の2。東北大会は優秀3など, 入賞7
 - ・第67回NHK杯全国高校放送コンテスト 中止
 - ・第44回全国高等学校総合文化祭放送部門 入賞2
 - 朗読部門 宮古 (3)遠洞 捺希 優秀賞
 - オーディオピクチャー部門 盛岡第一 あかちゃんは宝もの 特別賞
 - ・全国高校校内放送発表大会 入賞1
 - 盛岡南 (3)藤原 拓翔 入選
 - ・第24回東北高等学校放送コンテスト 1月30日(土)-2月7日(日) ウェブ上
 - アナウンス部門 盛岡北 (2)高橋海茉 優秀賞(2~3位相当)
 - 盛岡第二 (2)小山由貴 優良賞(4~6位相当)
 - 朗読部門 花巻北 (2)谷藤百香 優秀賞(2~3位相当)
 - ラジオキャンペーン部門 盛岡第二 問題! 優秀賞(2~3位相当)
 - 盛岡第一 Loop Line 優良賞(4~6位相当)
 - 盛岡第三 すてきなしっぽ 入選(7~10位相当)
 - テレビキャンペーン部門 花巻農業 会話をしよう 優秀賞(2~3位相当)

イ 講習会事業…セミナーサポート事業, 盛岡支部事業, 上位大会関連事業, 協力事業関連として実施。

- ① 放送専門部・盛岡支部主催
 - ・アナウンス朗読講習会 中止
 - ・放送講習会 9月21日(日) 県民会館 中止
 - ・メディアコミュニケーションセミナー 10月13日(火) 県民会館
畑中美耶子(歴文館), 加藤久智・高橋典子(IBC岩手放送), 井手広法(いまココ), 松田満(元放送専門部)各氏による部門別の講習。

- ・番組講習会 11月24日(火) 県民会館
放送専門部による東北大会出場校への指導。
- ・アナウンス朗読講習会 12月23日(土) 県民会館
安田知博氏による東北大会出場者等への指導。
- ・番組講習会 3月20日(土)-24日(日) 不來方高校・県民会館, 盛岡支部主催
井手広法氏による指導。2020年度は専門部から82,000円を補助

② 上位大会関連・協力事業関連

- ・高総体開会式司会 中止
- ・IAT 純情応援歌 5-7月
- ・高校生交通安全テレビCMコンテスト・制作講習会 中止
- ・第14回全国高校生短歌大会司会・講習会 中止
- ・高総文祭開会式司会 10月9日(金) 県民会館…盛岡第二
- ・岩手芸術祭開幕フェスティバル 高校生の出演無し
- ・いわて教育の日のつどい司会 高校生の出演無し
- ・海のごみをなくしていこうラジオキャンペーン大賞 12月12日(土) IBC岩手放送他
- ・IATブカツTV

ウ 研修事業

① 第43回校内放送指導者講座(12/27-28, オンライン)

14名参加。この講座への参加者は累計44名(複数回参加を除く)となり、指導力・審査力の向上につながっている。

② 生徒派遣事業…該当無し(中止)

エ その他

① 県高文連表彰…第2回理事会で報告。次のとおり県高文連に推薦し、受賞した。

連盟賞(生徒表彰)…2019(令和元)年9月1日～2020(令和2)年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

- ・宮古高校3年 遠洞 捺希

第44回全国高等学校総合文化祭放送部門朗読部門優秀賞

県教委「はばたき賞」も該当

功労賞(教職員表彰)…2019(平成30)年4月1日～2020(令和2)年3月31日に退職した教職員で、専門部長、指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞したもの、指導者として全国大会に10回以上出品・出演させた方。

- ・三田章徳 先生(黒沢尻北高等学校長でご退職) 2014～2015年度専門部長
- ・村井伸吾 先生(岩手中高等学校長でご退職) 2016～2017年度専門部長
- ・松田満 先生(岩手中高等学校をご退職) 優秀指導者

(3) 決算報告

ア 一般会計

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 前年度繰越	45,312	45,312	0	
B 登録料	180,000	110,000	-70,000	1校あたり10,000・被災地免除
C 参加料				
C-01 NHK杯県大会参加料	150,000	0	-150,000	1エントリーあたり1,000・被災地免除, 今年度無料
C-02 新人大会参加料	110,000	94,000	-16,000	1エントリーあたり1,000・被災地免除
参加料小計	260,000	94,000	-166,000	
D 補助金				
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	0	NHK杯40,000・新人大会40,000
D-02 セミナーサポート費	430,000	396,679	-33,321	講習会431,898-35,769+550
D-03 強化費	50,000	50,000	0	新人大会50,000
D-04 専門部補助	170,000	170,000	0	NHK杯6,820・新人大会57,801・他105,379
D-05 研修費	50,000	50,000	0	新人大会20,000・他30,000
補助金小計	780,000	746,679	-33,321	
E 雑収入	688	5	-683	利息
合計	1,266,000	995,996	-270,004	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 運営費				
A-01 分担金	30,000	-1,670	31,670	東北高文連放送部会費10,000・東北県参加料20,000 返金-31,560
A-02 事務費	1,000		1,000	事務費・通信費・会議費
A-03 旅費	40,000	18,640	21,360	第3回理事会等
運営費小計	71,000	16,970	54,030	
B 事業費				
B-01 NHK杯県大会	210,000	46,820	163,180	事業予算・決算別途
B-02 新人大会	265,000	261,801	3,199	事業予算・決算別途
B-03 講習会	460,000	396,679	63,321	事業予算・決算別途
B-04 研修事業	9,000	40,785	-31,785	顧問研修会補助
事業費小計	944,000	746,085	197,915	
C 予備費	251,000		251,000	
総計	1,266,000	763,055	502,945	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 995,996 -763,055 = 232,941 (次年度繰越金)

監査の結果、適正と認めます。

令和3年4月16日

監査

遠山 恵美

監査

高橋 篤志

- ・2020(令和2)年度第3回理事会の中間報告後の出納は、利息3円の収入、東北大会県参加料の返金31,670円のみ。
- ・登録料について、被災校の免除(1校10,000円)と、主催行事へ参加がなかった1校10,000円の返金をおこなった。登録料の前年度決算額との増減は70,000円の減。
- ・収入決算額の前年度決算額との増減は308,091円の減、支出決算額の前年度決算額との増減は495,720円の減。
- ・繰越232,941円は、予算額の18.4%である。

イ 事業費会計① NHK 杯県大会 (2020(令和2)年度第2回理事会で承認済)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 参加料	150,000	0	-150,000	ウェブ開催のため無し
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	20,000	6,820	-13,180	一般会計収D-04
4 強化費			0	一般会計収D-03
5 一般会計より			0	一般会計収B
合計	210,000	46,820	-163,180	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費				
A-01 審査員謝金	20,000	0	20,000	専門職審査員無し
A-02 表彰費	40,000	23,630	16,370	5部門の楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	60,000	23,630	36,370	
B 旅費				
B-01 県大会関係	45,000	23,190	21,810	第1回理事会
B-02 上位大会関係	50,000	0	50,000	担当者会議・全国大会運営委員会中止
旅費小計	95,000	23,190	71,810	
C 需用費				
C-01 食糧費	0	0	0	無会場のため無し
C-02 資料費	9,000	0	9,000	
需用費小計	9,000	0	9,000	
D 役務費	1,000	0	1,000	
E 予備費	45,000	0	19,000	
総計	210,000	46,820	137,180	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 46,820 - 46,820 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

令和2年9月11日 監査 遠山 恵美
監査 高橋 篤志

- ・無会場、上位大会中止で支出が大幅に減少したため、参加料は無しとした。参加料の決算額は前年度決算額と比べて148,000円の減。
- ・被災校の参加料免除(1校4エントリー, 4,000円)ならびに一般会計の学校登録料免除(1校10,000円)をおこなった。
- ・支出決算額は前年度決算額と比べて230,370円の減。
- ・上位大会中止のため、被災校の上位大会参加料の支出は無かった。

ウ 事業費会計② 新人大会 (2020(令和2)年度第3回理事会で承認済)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 参加料	110,000	94,000	-16,000	一般会計収C-02・被災地免除
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 強化費	50,000	50,000	0	一般会計収D-03
4 専門部補助	45,000	57,801	12,801	一般会計収D-04
5 研修費	20,000	20,000	0	一般会計収D-05
6 一般会計より	0	0	0	一般会計収B
合計	265,000	261,801	-3,199	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費				
A-01 審査員謝金	80,000	80,000	0	20,000*4
A-02 表彰費	40,000	37,750	2,250	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	120,000	117,750	2,250	
B 旅費				
B-01 県大会関係	40,000	27,390	12,610	第2回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	18,000	0	18,000	高文連全国放送専門部理事会・東北理事会
旅費小計	58,000	27,390	30,610	
C 需用費				
C-01 食糧費	40,000	32,781	7,219	審査員・係
C-02 資料費	5,000	0	5,000	事務用品
需用費小計	45,000	32,781	12,219	
D 役務費	2,000	880	1,120	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	40,000	83,000	-43,000	上位大会被災校参加料・盛岡支部事業補助
総計	265,000	261,801	3,199	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 261,801 - 261,801 = 0

監査の結果、適正と認めます。

令和3年2月10日

監査 遠山 恵美

監査 高橋 篤志

- ・参加料の決算額は前年度決算額と比べて13,000円減少した。
- ・被災校の参加料免除(1校13エントリー13,000円)をおこなった。
- ・支出決算額は前年度決算額と比べて81,494円減少した(支B-02上位大会関係の旅費支出がなかったため)。
- ・被災校の上位大会参加料(東北高等学校放送コンテスト1校1エントリー1,000円)を予備費から支出した。また、盛岡支部事業への補助も予備費からの支出に変更した。

エ 事業費会計③ 講習会 (2020(令和2)年度第3回理事会で承認済)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	一般会計収D-02(431,898-35,219)
1 セミナーサポート費	430,000	396,679	-33,321	一般会計収D-03
2 強化費			0	一般会計収D-04
3 専門部補助			0	一般会計収D-05
4 研修費	30,000		-30,000	一般会計収B
5 一般会計より			0	
合計	460,000	396,679	-63,321	

2 支出の部

備考

項目	予算額	決算額	予算残高	講師謝礼@20,000/日+源泉徴収
A 報償費	135,000	168,021	-33,021	
B 旅費				高文連旅費規程による定額
B-01 講師旅費	200,000	77,040	122,960	高文連旅費規程による定額
B-02 講師宿泊費	80,000	29,400	50,600	
旅費小計	280,000	106,440	173,560	
C 需用費				
C-01 資料作成費			0	
C-02 印刷代			0	
C-03 教材作成費			0	講師・役員
C-04 講師昼食代	40,000	19,115	20,885	消毒液・ケーブル・リモート用機材
C-05 消耗品費		99,793	-99,793	
需用費小計	40,000	118,908	-78,908	
D 役務費				
D-01 郵便料金	1,000		1,000	
D-02 宅配料金			0	駐車場代
D-03 運搬費	2,000	2,100	-100	220*3+550
D-04 振込手数料	2,000	1,210	790	
D-05 その他通信費			0	
役務費小計	5,000	3,310	1,690	
E 使用料・貸借料				
E-01 会場費			0	
E-02 機器使用料			0	
使用料・貸借料小計	0	0	0	
F 予備費			0	
総計	460,000	396,679	63,321	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 396,679 - 396,679 = 0

監査の結果、適正と認めます。

令和3年2月10日

監査

遠山 恵美

監査

高橋 篤志

・事業ごとの支出額は次のとおり。

		昨年度決算額比
① アナウンス朗読講習会(中止)	0円	-4,968円
② 放送講習会(中止)	0円	-207,997円
③ メディアコミュニケーションセミナー(10/13)	268,406円	167,641円
④ 番組講習会(11/24)	33,034円	7,520円
⑤ アナウンス朗読講習会(12/23)	95,239円	2,595円
合計	396,679円	-35,209円

・県高文連からのセミナーサポート費 431,898 円のうち 35,219 円を返金した。

・令和3年度の県高文連からのセミナーサポート費は、例年どおり 430,000 円の予定。

協議 2 2021(令和3)年度役員 (非改選期, 理事校 25 校, 出席者は下線)

専門部長	岩手県立金ヶ崎高等学校長	宮学	
副専門部長	岩手県立盛岡第二高等学校長	<u>小原貴人</u>	
副専門部長	岩手県立盛岡第三高等学校長	木村克則	
専門部代表理事	岩手県立盛岡第二高等学校	<u>菊地達哉</u> (事務局長・上位大会担当 [※])	
専門部理事			
	岩手県立盛岡第一高等学校	<u>細川純平</u>	2030～31 年度事務局校
	岩手県立盛岡第二高等学校	<u>松尾洋平・大野浄美</u>	事務局校
	岩手県立盛岡第三高等学校	<u>高橋篤志</u> (監事)	2022～23 年度事務局校
	岩手県立盛岡第四高等学校	徳田卓仁	2036～37 年度事務局校
	岩手県立盛岡北高等学校	<u>千葉雅彦</u>	2034～35 年度事務局校
	岩手県立盛岡南高等学校	<u>風張沙樹</u>	2024～25 年度事務局校
	岩手県立不来方高等学校	<u>金子剛</u>	2026～27 年度事務局校
	岩手県立杜陵高等学校定時制	小野寺裕子	
	岩手県立杜陵高等学校通信制	<u>曾我範晃</u>	
	岩手県立盛岡工業高等学校	<u>小野寺真由美</u>	2028～29 年度事務局校
	岩手県立紫波総合高等学校	<u>鈴木勇二</u> (盛岡支部理事)	
	盛岡市立高等学校	<u>山崎治子</u>	2032～33 年度事務局校
	岩手中・高等学校	<u>高田真也</u>	2038～39 年度事務局校
	盛岡白百合学園中学高等学校	<u>遠山恵美</u> (監事)	前事務局校
	岩手県立花巻北高等学校	<u>小田諭</u>	
	岩手県立花巻農業高等学校	<u>濱谷伸広</u> (花巻支部理事・NHK 杯運営委員)	
	岩手県立黒沢尻北高等学校	<u>高橋知己</u> (北上支部理事)	
	岩手県立岩谷堂高等学校	山平清人 (奥州支部理事)	
	岩手県立一関工業高等学校	<u>佐々木亜紀子</u> (一関支部理事)	
	岩手県立大船渡高等学校	<u>菊田光哉</u> (気仙支部理事)	
	岩手県立釜石高等学校	(視聴覚委員会顧問) (釜石支部理事)	
	岩手県立宮古高等学校	<u>菊地奈樹</u> (宮古支部理事)	
	岩手県立宮古商工高等学校	<u>和山真也</u>	
	岩手県立久慈高等学校	大釜由紀 (久慈支部理事)	
	岩手県立福岡高等学校	佐藤翔太 (二戸支部理事)	

([※] NHK 杯運営部, 高文連全国放送専門部理事, 東北地区高文連放送部会理事、東北アナ朗事務局)

NHK 学園が理事校をはずれ、杜陵通信制が加わった。

参考：理事校顧問一覧

岩手県立盛岡第一高等学校	細川純平・芳賀範文・谷藤さなえ
岩手県立盛岡第二高等学校	菊地達哉・松尾洋平・大野浄美
岩手県立盛岡第三高等学校	高橋篤志
岩手県立盛岡第四高等学校	徳田卓仁
岩手県立盛岡北高等学校	千葉雅彦・岩渕公夫
岩手県立盛岡南高等学校	風張沙樹・阿部雄至
岩手県立不来方高等学校	金子剛・昆安雄・澤田清美
岩手県立杜陵高等学校定時制	小野寺裕子・新田克枝
岩手県立杜陵高等学校通信制	曾我範晃
岩手県立盛岡工業高等学校	小野寺真由美・菊池正美
紫波総合高等学校	鈴木勇二・佐々木駿
盛岡市立高等学校	山崎治子・佐藤素子
岩手中・高等学校	高田真也・一郷翔徳
盛岡白百合学園中学高等学校	遠山恵美・菅原浩
岩手県立花巻北高等学校	小田諭
岩手県立花巻農業高等学校	濱谷伸広・小田島正明
岩手県立黒沢尻北高等学校	高橋知己・佐々木倫郎
岩手県立岩谷堂高等学校	山平清人・齊藤秀幸・佐藤友紀恵
岩手県立一関工業高等学校	佐々木亜紀子・小幡直子
岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉
岩手県立釜石高等学校	(報告無し)
岩手県立宮古高等学校	菊地奈樹・畠山多香子
岩手県立宮古商工高等学校	和山真也
岩手県立久慈高等学校	大釜由紀
岩手県立福岡高等学校	佐藤翔太

協議 3 2021(令和3)年度事業計画ならびに予算

(1) 事業計画(2020(令和2)年度第2回理事会までに承認済)

- ・規約第5条により，大会事業・講習会事業・顧問研修事業・その他の4つで構成する。
- ・以下の日程原則により，次ページのとおり会場を確保している。
- ・日程原則と異なるものは，以下の**太字**の箇所。
- ・9月までの主催事業の要項は，今回の理事会で協議する(NHK杯県大会は**協議4**，アナウンス朗読講習会は**協議5**，放送講習会は**協議6**)。10月以降のものは第2回理事会で協議する。
- ・昨年度までの要項等は，放送専門部のウェブサイト公開している。

日程原則 下線部・~~取消線~~は改定箇所

- ・第1回理事会(理事総会)…4月第3週の金曜日 (県高文連理事会後)
- ・NHK杯県大会(県民会館)…6月第2週の月曜・火曜 (高総体後・考査前)
- ・セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会(NHK盛岡局, 全国大会出場者対象)…7月中旬(NHK盛岡局との協議により決定)⇒6月下旬
- ・第2回理事会…9月上旬の金曜日
- ・セミナーサポート事業②放送講習会(県民会館)…9月3連休(以上)の中日 (県外校招聘のため)
- ・セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー(県民会館)…体育の日の翌々日(高総文祭開会式後, 新人大会決勝との曜日の一致) ⇒10月6日(水)
- ・新人大会(県民会館)…11月第2週(運動部の新人大会後・考査前, メディアコミュニケーションセミナーとの曜日の一致)⇒11月8日(月)-9日(火)
- ・セミナーサポート事業④番組講習会(県民会館, 東北大会出場者対象)…勤労感謝の日の週~~の平日~~ (TVIとの協議により決定)
- ・セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会(県民会館, 東北大会出場者対象)…12月下旬の土日のいずれか
- ・第3回理事会…2月第3週の金曜日(県高文連理事会後)

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	16	金	理事総会・第1回理事会	盛岡第二高校	放送専門部
6	7 8	月 火	第44回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第68回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	下旬		セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局?	放送専門部
6	28 29	月 火	第21回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野コミュニティセンター	東北高文連 主管事業
7	10	土	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議 第68回NHK杯全国高校放送コンテスト準々決勝	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	26 29	月 木	第68回NHK杯全国高校放送コンテスト準決勝・決勝	オリンピックセンター(準決勝) ・片柳アリーナ(決勝)	全放連・NHK
8	3	火	高文連全国放送専門部理事会	(和歌山県かつらぎ町)	全国高文連
8	4 5	水 木	第45回全国高等学校総合文化祭(和歌山大会)放送部門	かつらぎ総合文化会館あじさいホール	全国高文連
9	10	金	第2回理事会	盛岡第二高校	放送専門部
9	中旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(秋田市)	東北高文連
9	19	日	セミナーサポート事業②放送講習会	県民会館	放送専門部
10	1	金	第44回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	釜石市 (釜石高校主管)	県高文連 (盛岡支部主管)
10	6	水	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	8 9	月 火	第44回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第39回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	22	月	セミナーサポート事業④番組講習会	県民会館	放送専門部
12	25	土	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	下旬		校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	12 13	土 日	第25回東北高等学校放送コンテスト	秋田市文化会館	東北高文連
2	18	金	第3回理事会・会計監査	盛岡第二高校	放送専門部
3	下旬		番組講習会	(盛岡市)	盛岡支部
3	下旬		NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK

・感染症流行の状況によっては主催行事の実施方法を変更する。

ア 大会事業

① 主催大会(放送コンテスト県大会, 放送新人大会)

- ・いずれも第44回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会, ならびに上位大会の県予選として開催する。上位大会出場を前提としてエントリーすること。
- ・大会は, 2日日程を原則とし, エントリー数によっては1日開催とする。参加申込み締切は, 大会3週間前を原則とする。
- ・参加料は, 1エントリー当たり1,000円。参加料の免除については, 被災校・被災者に対して当面継続する。免除対象の判断は参加校の校長がおこなうこととし, 大会の案内文書に記載する。参加料免除のエントリーが上位大会に進出した場合, 上位大会の参加料は, 放送専門部の会計から支出する。

② 上位大会

- ・第21回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト(中止の見込み)主管事業
<http://www2.iwate-ed.jp/housou/anarou/> 岩手県高文連放送専門部の主管で実施。
夏の全国大会アナ朗代表相当を対象。
- ・第68回NHK杯全国高校放送コンテスト(東京) 7/2-29
http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/ NHK杯県大会の上位大会。
今年度はすべて録音・録画物による審査。
全国大会運営部に盛岡第二・菊地達哉, 運営委員に花巻農業・濱谷伸広を県推薦。
審査員として, 6名を県推薦。(非表示)

・第 45 回全国高等学校総合文化祭放送部門(和歌山県かつらぎ町) 8/4-5

<https://wakayama-soubun2021.jp> 前年度新人大会の上位大会。代表は次のとおり。

以下は完全実施の場合の対応。

- ・アナウンス部門…盛岡北(3)高橋海菜, 盛岡第二(3)小山由貴, 宮古(3)畠山愛深
- ・朗読部門…花巻北(2)谷藤百香, 花巻北(3)渡邊愛香, 花巻農業(3)八重樫美咲
- ・オーディオピクチャー部門…花巻農業, ビデオメッセージ部門…盛岡第一, 不來方

担当

- ・全体…事務局,

アナ…盛岡第二・菊地達哉, 朗読…花巻農業・濱谷伸広, 番組…盛岡第一・細川純平

準備日程

- ・4/30(金)正午 一式集約(郵送等)→盛岡第二・菊地達哉
- ・5/31(月) 宿泊・弁当等(サポート室での受付の場合)

表彰…各ブロックから1名(1本)を優秀賞に選出, 総合成績1位の都道府県に文部科学大臣賞・2位に文化庁長官賞を授与する

- ・和歌山大会のグループ(ブロック) 時間は予想

アナウンス部門: ブロック B(岩手・愛知・福井・和歌山・宮崎・鹿児島) 8/4 午前?

朗読部門: ブロック C(岩手・静岡・石川・岡山・大分・熊本) 8/4 午前?

AP 部門: ブロック G/H(青森・東京・奈良・岡山・香川・熊本 /

岩手・山形・群馬・石川・宮崎・沖縄) 1日めの午後? 8/4 午後?

VM 部門: ブロック H(岩手・山形・群馬・石川・宮崎・沖縄) 8/5 午後?

・第 25 回東北高等学校放送コンテスト(秋田市文化会館)2022(令和4)年2/12(土)-13(日)

- ・今年度の新人大会の上位大会。キャンペーン部門のキーワードは「とも」

・第 46 回全国高等学校総合文化祭放送部門(東京都)

- ・東京都大田区 日本工学院 片柳アリーナ? 2022(令和4)年8/3-4
- ・今年度の新人大会の上位大会。

イ 講習会事業

① 主催講習会…いずれの講習会も、セミナーサポート事業として開催する。参加料は無料。

参加申込み締切は、開催2週間前を原則とする。

- ・アナウンス朗読講習会(NHK盛岡局) 6月下旬 →協議5
全国大会のアナウンス部門・朗読部門代表対象
- ・放送講習会(県民会館) 9/19(日) →協議6
- ・メディアコミュニケーションセミナー(県民会館) 10/6(水)
専門職による部門別(アナウンス・朗読・テレビ・ラジオ)講習
- ・番組講習会(県民会館) 11/22(月) 東北大会代表対象
- ・アナウンス朗読講習会(県民会館) 12/25(土) 東北大会アナ朗代表対象
- ・番組講習会(県民会館) 3月下旬 盛岡支部主催

② 上位大会関連・協力事業関連…放送専門部のウェブサイト、メーリングリスト等で周知。

- ・交通安全テレビCMコンテスト講習会、短歌甲子園司会講習会他

ウ 研修事業

予算の執行状況をみて、校内放送指導者講座(12月下旬、東京)への派遣と参加補助、他県の研修会・講習会等への生徒の派遣補助を検討する。他県の行事については、メーリングリストで周知する。

エ その他

- ① **協力事業(県内諸団体からの協力要請によるもの)**…県高総体総合開会式，県高総文祭総合開会式，いわて教育の日記念行事，県内諸団体の依頼(IAT ブカツ TV・純情応援歌，交通安全テレビCM コンテスト，短歌甲子園)等について協力する。このうち，交通安全テレビCM コンテストと短歌甲子園の担当は，紫波総合高校・鈴木勇二先生。

県高総文祭総合開会式(10月第1週の金曜日が原則)の担当支部は次のとおり。

- ・2021(令和3)年度釜石支部(釜石高校主管)
- ・2022(令和4)年度宮古支部(宮古高校主管)
- ・2023(令和5)年度盛岡支部(盛岡誠桜高校主管)
- ・2024(令和6)年度二戸支部
- ・2025(令和7)年度気仙支部
- ・2026(令和8)年度盛岡支部

- ② **高文連表彰**…県高文連表彰規程に該当するものを推薦する。第2回理事会で報告。

- ・ **功労賞(教職員表彰)**…2020(令和2)年4月1日～2021(令和3)年3月31日に退職した教職員で，専門部長経験者，専門部の事務局長(代表理事)を3年以上担当した方，指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞させた方，指導者として全国大会に10回以上出品・出演させた方のいずれかにあたる方を専門部として推薦する。

- ・ **高橋篤志 先生(定年退職) 優秀指導者**

- ・ **連盟賞(生徒表彰)**…2020(令和2)年9月1日(昨年度の全国高総文祭を除く)～2021(令和3)年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

(2) 予算

ア 一般会計

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 前年度繰越	232,941	45,312	45,312	187,629	
B 登録料	150,000	180,000	110,000	-30,000	1校あたり10,000・被災地免除
C 参加料					
C-01 NHK杯県大会参加料	150,000	150,000	0	0	1エントリーあたり1,000・被災地免除
C-02 新人大会参加料	110,000	110,000	94,000	0	1エントリーあたり1,000・被災地免除
参加料小計	260,000	260,000	94,000	0	
D 補助金					
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	80,000	0	NHK杯40,000・新人大会40,000
D-02 セミナーサポート費	430,000	430,000	396,679	0	講習会430,000
D-03 強化費	50,000	50,000	50,000	0	新人大会50,000
D-04 専門部補助	170,000	170,000	170,000	0	NHK杯90,000・新人大会45,000・他35,000
D-05 研修費	50,000	50,000	50,000	0	講習会30,000・新人大会20,000
補助金小計	780,000	780,000	746,679	0	
E 雑収入	59	917	4	-858	利息
合計	1,423,000	1,266,229	995,995	156,771	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 運営費					
A-01 分担金	30,000	30,000	-1,670	0	東北高文連放送部会費10,000・東北県参加料20,000
A-02 事務費	3,000	1,000		2,000	事務費・通信費・会議費
A-03 旅費	40,000	40,000	18,640	0	第3回理事会等
運営費小計	73,000	71,000	16,970	2,000	
B 事業費					
B-01 NHK杯県大会	350,000	210,000	46,820	140,000	事業予算・決算別途
B-02 新人大会	380,000	265,000	261,801	115,000	事業予算・決算別途
B-03 講習会	460,000	460,000	396,679	0	事業予算・決算別途
B-04 研修事業	20,000	9,000	40,785	11,000	全国研修会派遣補助等
事業費小計	1,210,000	944,000	746,085	266,000	
C 予備費	140,000	251,000	0	-111,000	
総計	1,423,000	1,266,000	763,055	157,000	

イ 事業費会計① NHK 杯県大会

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 参加料	150,000	150,000	0	0	一般会計収C-01・被災地免除
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	80,000	20,000	6,820	60,000	一般会計収D-04
4 強化費	50,000			50,000	一般会計収D-03
5 一般会計より	30,000			30,000	一般会計収B
合計	350,000	210,000	46,820	140,000	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費					
A-01 審査員謝金	20,000	20,000	0	0	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02 表彰費	45,000	40,000	23,630	5,000	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	65,000	60,000	23,630	5,000	
B 旅費					
B-01 県大会関係	30,000	45,000	23,190	-15,000	第1回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	140,000	50,000	0	90,000	担当者会議・全国大会運営委員会
旅費小計	170,000	95,000	23,190	75,000	
C 需用費					
C-01 食糧費	55,000	0	0	55,000	審査員・係
C-02 資料費	10,000	9,000	0	1,000	事務用品
需用費小計	65,000	9,000	0	56,000	
D 役務費	1,000	1,000	0	0	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	49,000	45,000	0	4,000	上位大会被災校参加料
総計	350,000	210,000	46,820	140,000	

ウ 事業費会計② 新人大会

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 参加料	110,000	110,000	94,000	0	一般会計収C-02・被災地免除
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 強化費	50,000	50,000	50,000	0	一般会計収D-03
4 専門部補助	90,000	45,000	57,801	45,000	一般会計収D-04
5 研修費	50,000	20,000	20,000	30,000	一般会計収D-05
6 一般会計より	40,000	0	0	40,000	一般会計収B
合計	380,000	265,000	261,801	115,000	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費					
A-01 審査員謝金	80,000	80,000	80,000	0	20,000*4
A-02 表彰費	50,000	40,000	37,750	10,000	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	130,000	120,000	117,750	10,000	
B 旅費					
B-01 県大会関係	40,000	40,000	27,390	0	第2回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	122,000	18,000	0	104,000	高文連全国放送専門部理事会・東北理事会
旅費小計	162,000	58,000	27,390	104,000	
C 需用費					
C-01 食糧費	40,000	40,000	32,781	0	審査員・係
C-02 資料費	5,000	5,000	0	0	事務用品
需用費小計	45,000	45,000	32,781	0	
D 役務費	3,000	2,000	880	1,000	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	40,000	40,000	83,000	0	上位大会被災校参加料
総計	380,000	265,000	261,801	115,000	

エ 事業費会計③ 講習会

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 セミナーサポート費	430,000	430,000	396,679	0	一般会計収D-02
2 強化費				0	一般会計収D-03
3 専門部補助				0	一般会計収D-04
4 研修費	30,000	30,000		0	一般会計収D-05
5 一般会計より				0	一般会計収B
合計	460,000	460,000	396,679	0	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費	170,000	135,000	168,021		講師謝礼@20,000/日+源泉徴収
B 旅費					
B-01 講師旅費	164,000	200,000	77,040	-36,000	高文連旅費規程による定額
B-02 講師宿泊費	80,000	80,000	29,400	0	高文連旅費規程による定額
旅費小計	244,000	280,000	106,440	-36,000	
C 需用費					
C-01 資料作成費				0	
C-02 印刷代				0	
C-03 教材作成費				0	
C-04 講師昼食代	40,000	40,000	19,115	0	講師・役員
C-05 消耗品費			99,793	0	
需用費小計	40,000	40,000	118,908	0	
D 役務費					
D-01 郵便料金	1,000	1,000		0	
D-02 宅配料金				0	
D-03 運搬費	3,000	2,000	2,100	1,000	
D-04 振込手数料	2,000	2,000	1,210	0	
D-05 その他通信費				0	
役務費小計	6,000	5,000	3,310	1,000	
E 使用料・賃借料					
E-01 会場費				0	
E-02 機器使用料				0	
使用料・賃借料小計	0	0	0	1,000	
F 予備費				0	
総計	460,000	460,000	396,679	-35,000	

・事業ごとの支出見込額は次のとおり。

		昨年度決算額比
①アナウンス朗読講習会(7月)	5,000円	5,000円増
②放送講習会(9月)	210,000円	210,000円増
③メディアコミュニケーションセミナー(10月)	110,000円	158,406円減
④番組講習会(11月)	30,000円	3,034円減
⑤アナウンス朗読講習会(12月)	75,000円	20,239円減
合計	430,000円	33,321円増

協議 4 NHK 杯県大会要項

(省略 放送専門部のサイト参照 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/>)

協議 5 アナウンス朗読講習会要項

この夏の全国大会に出場するアナウンス・朗読の代表生徒対象。
詳細は6月8日(火)の代表校打合せ会にて。

協議 6 放送講習会要項

9月19日(日) 岩手県民会館中ホール他
開催方法検討中。内容等については事務局に一任いただきました。

協議 7 その他

(協議題なし)

連絡 1 2022(令和4)年度以降の予定

(1) 2022(令和4)年度の日程 (2020(令和2)年度第3回理事会で連絡済)

協議3(1)の日程原則により、次のとおり会場を仮予約済み。

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	中・下旬		理事総会・第1回理事会	盛岡第三高校	放送専門部
6	6 7	月 火	第45回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	27 28	月 火	第22回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野コミュニティセンター	東北高文連 主管事業
7	2 3	土 日	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	中旬		セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	25 28	月 木	第69回NHK杯全国高校放送コンテスト	(決勝会場未公表)・オリ ピックセンター(準決勝ま で)	全放連・NHK
7	28	木	Nコン番組制作セミナー?		全放連・NHK
8	2	火	高文連全国放送専門部理事会	(東京都大田区)	全国高文連
8	3 4	水 木	第46回全国高等学校総合文化祭(東京大会)放送部門	(東京都大田区)	全国高文連
9	上旬		第2回理事会	盛岡第三高校	放送専門部
9	中・下旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(青森県)	東北高文連
9	18	日	セミナーサポート事業②放送講習会	県民会館	放送専門部
10	7	金	第45回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	宮古市民文化会館 (宮古高校主管)	県高文連 (盛岡支部主管)
10	12	水	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	1 2	火 水	第45回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第40回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	23	水	セミナーサポート事業④番組講習会	県民会館	放送専門部
12	24	土	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	下旬		校内放送指導者講座	(東京)	全放連・NHK
2	上旬		第26回東北高等学校放送コンテスト	(青森県)	東北高文連
2	中旬		第3回理事会・会計監査	盛岡第三高校	放送専門部
3	19	日	番組講習会	県民会館	盛岡支部
3	下旬		NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK

(2) 2022 年度以降の上位大会 (2020(令和 2)年度第 2 回理事会で連絡済)

ア NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

- ・2022(令和 4)年 69 回大会 日時未定, NHK ホール以外の可能性あり

イ 全国高等学校総合文化祭

- ・2022 年 46 回大会 東京都 日本工学院 片柳アリーナ?
- ・2023 年 47 回大会 鹿児島県
- ・2024 年 48 回大会 岐阜県
- ・2025 年 49 回大会 香川県
- ・2026 年 50 回大会 北海道東北ブロックのいずれかの県(秋田県の見込み。岩手は 2032 年?)
- ・2027 年 51 回大会 北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野)のいずれかの県
- ・岩手の可能性があるのは 2032 年

ウ 東北高等学校放送コンテスト…秋田から時計回りを原則とする。

- ・2021 年度 25 回大会 秋田県
- ・2022 年度 26 回大会 青森県
- ・2023 年度 27 回大会 岩手県
- ・2024 年度 28 回大会 宮城県
- ・2025 年度 29 回大会 福島県 全国総文リハーサル大会として秋田県の可能性あり
- ・2026 年度 30 回大会 山形県 29 回大会が秋田県の場合は福島県

連絡 2 放送専門部の連絡方法

(1) 放送専門部ウェブサイトについて

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

(2) 放送専門部顧問メーリングリストについて

- ・放送専門部顧問のメールアドレスを登録したメーリングリストを設けています。また、連絡は原則としてメーリングリストまたは個別のメールによりますので、一日一度はメールの確認をお願いします。なお、上位大会の手続きは、原則としてすべてメールやウェブです。

(3) 事務局からの文書発送について

- ・事務局からの文書は、放送専門部のウェブサイトに掲載しデータをダウンロードできるようにします。その都度、メーリングリストまたは個別のメールで周知します。

連絡3 その他

(1) 理事会の旅費の計算について

- ・理事会の旅費は、県高文連旅費規程により、専門部が負担します。
- ・旅費の算出は、各自(各校)でおこなってください。各校の事務室で出張の実態(発着地、通勤経路との関係、私用車公用の有無など)にあわせて算出してもらい、理事会出席の報告時に、交通費(運賃・車賃)・現地経費をお知らせください。
- ・近隣の学校での乗りあわせなど、経費節減へのご協力もよろしくお願いいたします。

(2) 高文連理事会(4/12 サンセール盛岡)報告

- ・全国総文祭(高知)の県高文連の生徒旅費補助は8,000円×上限3泊+行動費20,000円。
- ・今年度の全国高文連研究大会(島根)への派遣は、演劇・書道・新聞。
- ・来年度に県高文連40周年記念誌を発刊の予定。

(4) その他

- ・高総体総合開会式司会について…5/18(火)運動公園、盛岡支部の学校から4名を事務局で推薦
→中止
- ・3月番組講習会講師の井手さんから、機材(ビデオカメラ、照明等)の貸与あり。希望者は紫波総合・鈴木勇二先生(盛岡支部理事)へ。

- ・このあと全国総文代表校顧問の打合せ

岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

第1章 総則

第1条(名称)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部と称し、岩手県高等学校文化連盟に所属する。

第2条(事務局)

本専門部は、事務局を専門部長が委嘱する学校に置く。

第3条(構成)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟加盟校の放送・視聴覚等の部・委員会等(以下「放送部等」という)により構成する。

2 本専門部に岩手県高等学校文化連盟が定める10支部(盛岡、花巻、北上、奥州、一関、気仙、釜石、宮古、久慈、二戸)を置く。

第2章 目的及び事業

第4条(目的)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟の掲げる目的に即して、放送部等の相互理解と、校内放送活動の育成、振興、ならびに健全な発展に寄与することを目的とする。

第5条(事業)

本専門部は、前条の目的達成のために、次の事業を行う。

- (1) 大会、講習会、研修会の開催に関すること。(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)
- (2) 放送部等の情報交換および連絡に関すること。
- (3) 校内放送活動の研究に関すること。
- (4) 関係機関との情報交換および交流に関すること。
- (5) その他目的達成に必要な事業

第3章 役員

第6条(役員)

本専門部に次の役員を置く。

- (1) 専門部長 1名
- (2) 副専門部長 若干名

(3) 専門部代表理事(事務局長) 1名

(4) 専門部理事 若干名

(5) 支部理事 各支部1名(10名)

(6) 監事 2名

第7条(事務局)

本専門部事務局に次の事務局員を置く。

(1) 事務局長(専門部代表理事) 1名

(2) 庶務担当 若干名

(3) 会計担当 若干名

第8条(職務)

役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は、本専門部を代表し、会務を統轄する。
- (2) 副専門部長は、専門部長を補佐し、専門部長に事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 専門部代表理事は、理事会を統括し、事務局長として会務を処理する。
- (4) 専門部理事は、理事会を組織し、会務を処理する。
- (5) 監事は、業務の監督及び会計の監査を行う。
- (6) 事務局員は、本専門部の事務を処理する。

第9条(選出)

役員の選出は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は、岩手県高等学校長協会の推薦により、理事総会で承認する。
- (2) 副専門部長は、理事総会の推薦により、専門部長が委嘱する。
- (3) 専門部代表理事(事務局長)、専門部理事、監事は、理事総会の推薦により、専門部長が委嘱する。
- (4) 支部理事は、専門部理事より各支部で選出し、理事総会で承認する。
- (5) 事務局員は、専門部長が委嘱する。

2 役員の重任は妨げない。

第10条(任期)

役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは補充することができる。

第4章 会議

第11条(会議)

本専門部の会議は次のとおりとする。

- (1) 理事総会 本専門部役員全員で構成する。理事総

会は本専門部の最高決議機関であり、毎年1回専門部長が招集する。

- (2) 理事会 専門部長、副専門部長、専門部代表理事(事務局長)、専門部理事で構成する。必要に応じて専門部長が招集する。
- (3) 事業実行委員会 主催事業毎、ならびに上位大会を主管する毎に組織する。必要に応じて専門部長が招集する。

第12条(会議に付議すべき事項)

- (1) 理事総会
 - ① 事業報告および決算
 - ② 事業計画および予算
 - ③ 役員を選出
 - ④ 規約の改定
 - ⑤ その他特に必要な事項
- (2) 理事会
 - ① 理事総会から委嘱された事項
 - ② 細則の改定
 - ③ 加盟団体から提案された事項
 - ④ その他必要な事項

第13条(議決)

会議は構成校の3分の2以上の出席で成立するものとし、委任状はこれを認める。

- 2 議決は出席者の過半数の賛否により決定する。ただし1校1票とする。

第5章 会計

第14条(会計)

本連盟の経費は、登録料・参加料・補助金(岩手県高等学校文化連盟等)・寄付金及びその他の収入をもって、これにあてる。

第15条(会計年度)

本専門部の会計年度は当年4月1日から翌年の3月31日までとする。

第16条(会計経理)

本専門部の会計は、別に定める会計事務に関する細則による。

附則

- 1 この規約は、理事総会の議決によらなければ変更することができない。
- 2 この規約の実行に必要な細則は、理事会の議決をへて別に定める。
- 3 この規約は、平成13年4月1日から施行する。
- 4 この規約は、平成15年4月から施行する。
- 5 この規約は、平成18年4月から施行する。
- 6 この規約は、平成20年4月から施行する。
- 7 この規約は、平成21年4月から施行する。

役員選出に関する細則

第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第6条および第9条による役員選出について定めるものである。

第2条(役員選出の原案)

役員を選出については、別表1により原案を作成する。事務局については第3条で定める。

第3条(事務局の輪番)

- 事務局は、2年交代の輪番制とする。
- 2 輪番制の対象校は盛岡支部内の専門部理事担当校とする。
 - 3 輪番制の詳細については、別表2による。

附則

- 1 この細則は理事会の議により改定することができる。
- 2 別表1および別表2は、事務局が交代する直前の理事会で改定することを原則とする。
- 3 この細則は、平成13年4月1日から施行する。
- 4 この細則は、平成16年4月から施行する。
- 5 この細則は、平成17年4月から施行する。
- 6 この細則は、平成20年4月から施行する。
- 7 この細則は、平成21年4月から施行する。
- 8 この細則は、平成24年4月から施行する。

別表1 役員案作成に関する事項

- 専門部長 岩手県高等学校長協会の推薦による。
- 副専門部長 事務局校の校長ならびに次期事務局校の校長とする。ただし専門部長が事務局校校長である場合は次期事務局校校長のみとする。
- 専門部代表理事(事務局長) 事務局校の専門部理事とする。
- 専門部理事 大会(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)に参加する学校ならびに盛岡支部の学校を原則とする。
- 監事 前事務局校と次期事務局校とする。
- 備考 専門部長について2021(令和3)年4月の岩手県高等学校長協会の推薦は、金ヶ崎高等学校長。

別表2 事務局の輪番に関する事項

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 盛岡白百合学園 | 1996～1997年度 |
| 2 盛岡第二 | (インターハイ式典) |
| 3 盛岡第三 | 1998～1999年度 |
| 4 盛岡南 | 2000～2001年度 |
| 5 不来方 | 2002～2003年度 |
| 6 盛岡工業 | 2004～2005年度 |
| 7 ※盛岡商業 | 2006～2007年度 |
| 8 盛岡第一 | 2008～2009年度 |
| 9 盛岡市立 | 2010～2011年度 |
| 10 盛岡北 | 2012～2013年度 |
| 11 盛岡第四 | 2014～2015年度 |
| 12 岩手 | 2016～2017年度 |

(12番の次は1番に戻る)

- 備考①輪番制は1996(平成8)年度から実施している。
- ②輪番については、記載順を原則とする。

会計事務に関する細則

第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第14条による会計事務の執行について定めるものである。

第2条(会計事務)

会計事務は、専門部長の指導のもと、事務局長が担当する。

- 2 予算書は、事務局長が作成し、理事総会の議を経なければならない。
- 3 収納した現金は、確実な金融機関に預金し、事務局長が保管する。
- 4 事務局長は、予算書および関係書類を照合し、その内容金額を適正時期に支出する。受領した領収証は厳重に保管し、速やかに記帳処理を行う。
- 5 決算書は、会計年度終了後速やかに作成し、監査後、理事総会の承認を得なければならない。

第3条(登録料)

登録料は、主催大会の参加校1校あたり、年額10,000円とする。納期は理事会で定める。

第4条(参加料)

本専門部の主催する事業の参加料、ならびに納期は、理事会で定める。

第5条(旅費)

旅費は、岩手県高等学校文化連盟旅費規程による。

第6条(事業費)

本専門部が主催する事業については、放送専門部一般会計から相当額の事業費を支出し、その都度予算書を作成し、理事会の議を経て執行する。予算書は、事務局長が作成する。

- 2 事業終了後は、速やかに決算書を作成し、監査後、理事会の承認を得なければならない。

附則

- 1 この細則は理事会の議により改定することができる。
- 2 この細則は、平成13年4月1日から施行する。
- 3 この細則は、平成20年4月から施行する。
- 4 この細則は、平成21年4月から施行する。
- 5 この細則は、平成25年4月から施行する。

岩手県高等学校文化連盟旅費規程

(参考資料)

第1条(趣旨)

この規定は岩手県高等学校文化連盟会計規定第2条により、旅費に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条(旅費の支給)

岩手県高等学校文化連盟加盟校の職員(以下、「加盟校職員」という。)が岩手県高等学校文化連盟(以下、「県高文連」という。)の主催する事業を遂行するために旅行する場合には、当該加盟校職員に対し、旅費を支給する。

- 2 前項の規定に関わらず、加盟校職員が県高文連の主催する大会(以下、「主催大会」という。)等に、参加生徒を引率する業務を兼ねて従事する場合には、旅費を支給しない。
- 3 加盟校職員以外の者が、県高文連の依頼に応じ、県高文連の主催する事業の遂行を補助するために旅行した場合には、その者に対し旅費を支給する。

第3条(旅費の種類)

旅費の種類は、交通費、現地経費、宿泊料とする。

第4条(交通費)

交通費は、鉄道賃、船賃、航空賃、車賃とし、旅行の経路に応じて、次の各号に定めるところにより実費相当額を支給する。

- (1) 鉄道賃は、加盟校職員が所属する学校(以下、「加盟校」という。)の最寄り駅から用務地の最寄り駅までの運賃実費を支給する。
- (2) 船賃は、水路旅行について、路程に応じ船賃実費を支給する。
- (3) 航空賃は、航空旅行について、路程に応じ支給するものとし、その額は現に支払った額とする。
- (4) 加盟校又は用務地から最寄り駅までの陸路距離が相当程度と認められる場合に限り、陸路旅行について、路程に応じ車賃を支給することができる。その額は岩手県職員の例による。

第5条(現地経費)

現地経費は、旅行中の日数に応じ1日当たりの定額により支給するものとし、その額は次のとおりとする。

- (1) 旅行の用務地が県内である場合には、1,500円を支

給する。

- (2) 旅行の用務地が県外である場合には、甲地方(東京23区、さいたま市、千葉市、横浜市、相模原市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、福岡市)については、2,900円、乙地方(甲地方にあげた以外の地域)については、2,200円を支給する。

2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合においては、当該各号に規定する額に調整する。

- (1) 行程40キロメートル未満の旅行(※1)であって、用務地が県内のものについては、支給しない。
- (2) 用務が主催大会であって、昼食が支給される場合は、前項の各号に規定する額の2分の1に相当する額。
- (3) 公用車等(※2)のみを利用して旅行する場合は、前項の各号の規定する額の2分の1に相当する額。

第6条(宿泊料)

宿泊料は、旅行中の夜数に応じ1夜当たりの定額により支給するものとし、その額は、甲地方(東京23区、さいたま市、千葉市、横浜市、相模原市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、福岡市)については、10,900円、乙地方(甲地方にあげた以外の地域)については、9,800円とする。

2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合においては、当該各号に規定する宿泊料を支給する。

- (1) 旅行者が自己所有の空き家、配偶者宅等に宿泊する場合には、宿泊料は支給しない。
- (2) 主催大会に関する業務に従事する場合等で、大会主催者等により宿泊料が定められている場合には、当該実費額を支給する。

3 主催大会等に関する業務に従事する場合で、県高文連会長が必要と認めた者に対しては、宿泊料を支給することができる。

第7条(準用)

この規定に定める事項以外については、岩手県職員の例による。

附則

- 1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成18年4月21日から施行する。

3 この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

4 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

(補足)

※1 1 日の行程(日帰りの場合は往復分)のキロ数

※2 「公用車等」は、私用車の公務上使用承認を受けた場合を含む

岩手県高等学校文化連盟表彰規程(参考資料)

第 1 条(趣旨)

本県高等学校の芸術・文化の活動の振興と水準の向上を図るため、芸術・文化活動における優れた業績と本連盟の発展に尽くした生徒(部を含む)、教職員及び他団体(個人)を表彰する。

第 2 条(推薦の方法)

推薦にあたっては、別紙様式による推薦書に記入し、所定の期日までに提出する。

1 生徒について

(1) 当該学校長が在学生徒及び前年度卒業生より選定して、会長あて推薦する。

(2) 専門部長は、当該専門部より選定して会長あて推薦する。

2 教職員については、支部長、専門部長が選定して会長あて推薦する。

3 団体については、支部長、専門部長等が選定して会長あて推薦する。

第 3 条(推薦の条件)

1 生徒について

(1) 在学中、学業・性行ともに優れ、健全かつ優れた活動実績を有するもの。

(2) 県高等学校総合文化祭として、専門部ごとに表彰する特別賞を受賞したもの。

(3) 全国高等学校総合文化祭、その他の全国規模の大会及びコンクールにおいて優良賞(3 位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

(4) 推薦対象の期間は、前年度 9 月 1 日より翌年の 8 月 31 日までの一年間を原則とする。

2 教職員について

多年にわたり芸術・文化の指導に尽くし、本県高

等学校文化連盟の振興に寄与した功績が特に顕著であった教職員であること。

(1) 次に該当する役員が退任する際に表彰する。

ア 県高等学校文化連盟会長

(2) 次に該当する教職員については、退職の際に表彰する。

ア 県高等学校文化連盟副会長、専門部長を経験したもの。

イ 県高等学校文化連盟参与、理事長、事務局長を経験したもの。

ウ 指導者として全国規模の大会及びコンクールに優良賞(3 位)以内に入賞したものを対象とする。

エ 指導者として全国規模の大会及びコンクールに 10 回以上出品・出演させたものを対象とする。

オ 専門部代表理事を 3 年以上経験したもの。

第 4 条(表彰審議委員会)

審議を公平に行うため、表彰審議委員会を設置する。

1 高文連会長は表彰審議委員会を設置する。

2 表彰審議委員は、高文連会長が委嘱する。

3 表彰審議委員会は、必要に応じて会長が招集し、被表彰者を審議選考して、会長に具申する。

第 5 条(表彰)

1 県高等学校総合文化祭総合開会式の際表彰する。

2 表彰状及び記念品を贈る。

第 6 条(専門部の表彰)

1 県高等学校総合文化祭として、専門部ごとの表彰については、高等学校文化連盟会長名で表彰するものとする。

2 表彰の名称等は次の型とする。

(1) 特別賞 最優秀賞 優秀賞 優良賞 入選

(2) 特別賞 金賞 銀賞 銅賞 入選

(3) 1 位 2 位 3 位

付則

1 この規程は、昭和 62 年 9 月 9 日から施行する。

2 この規程は、平成 12 年 4 月 18 日から施行する。

3 この規程は、平成 24 年 4 月 13 日から施行する。

4 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。